

Ono's Desk

ひまわりは北区の花

「北区まちづくり懇話会」が設置され、私は会長を務めることとなったが、具体的な最初の仕事は「区の花」の選定がその一つであった。区民からの応募があった多くの花の中から、懇話会で検討した結果、ひまわりに決まった。北区のあちこちにひまわりが沢山咲きそろうのが今から待ち遠しい。そういえば北区の花を先取りした形で本学キャンパススクエアに今ひまわりが咲いている。そのひまわりが、最新の「银杏学園通信 ぎんきょう」の表紙を飾っている。Wikipediaによると既に日本で24の都道府県・市区町村の花としてひまわりが採用されている。またひまわりは意外にもロシアの国の花である。ロシアはひまわり油の最大生産国だそうだ。



8月・9月の主な行事予定

8月1日(木)～2日(金)	第3回MT国際シンポジウム(フィリピン)
8月8日(木)～9日(金)	職員旅行(霧島)
8月8日(木)～20日(火)	リハビリ科学学生3名がコンケン大学(タイ)で交換研修
8月10日(土)～20日(火)	本学学生5名がGSLP(大邱保健大学)に参加
8月12日(月)～16日(金)	教職員夏期休暇
8月25日(日)	オープンキャンパス
8月28日(水)～29日(木)	5大学合同中堅職員研修(崇城大・熊本学園大・九州ルーテル学院大・平成音楽大・熊本大)
9月1日(日)	オープンキャンパス(チャレンジ熊本大:推薦入試特別講座)
9月1日(日)～12日(木)	医検学科学学生2名が大邱保健大学で交換研修
9月4日(水)	银杏学園理事会(本学)
9月6日(金)	5大学合同中堅職員フォローアップ研修
9月7日(土)	3年次保護者会
9月12日(木)～13日(金)	5大学合同職員研修:主任・管理職研修
9月19日(木)	リハビリテーション学科合同就職説明会

業務改善事例発表会

7月25日(木)に事務職員の業務改善事例発表会を行いました。昨年合同中堅職員研修に参加した受講者が、研修で学んだことをもとに、この一年間、各担当業務での改善事例を発表するというものです。今回は7名が発表し、1位は行本夏菜さん(入試広報課)と坂元美里さん(学務課)でした。おめでとうございます! 行本さんは9月6日(金)に崇城大学で開催されるフォローアップ研修の場で、本学の代表として発表されます。写真は、記念品贈呈の際のものです。



熊本保健科学大学のミッション

この度、本学のミッションが改めて確認されましたので、教職員の皆様もご確認下さい。

保健医療分野で社会に貢献できる医療技術者を養成する

1. 設立母体

熊本保健科学大学は、一般財団法人 化学及血清療法研究所を設立母体とし、定款第4条第5号「医療技術者を養成する事業への協力・支援」に基づき設立された。



2. 建学の精神

建学の精神は、「優れた医療技術者の養成を通じて社会に貢献すること」である。



3. 使命・目的

建学の精神に基づき、大学の使命・目的として「保健医療に関する学問の教育及び研究を行い、豊かな教養と人格とを兼ね備え、国民の保健衛生並びに医療に寄与する人材を育成する」(学則第1条)を掲げている。



4. 基本理念

本学は、「知識」「技術」「思慮」「仁愛」を四綱領とし、以下の基本理念を掲げる。

1. 保健医療分野に関する専門知識技術の教育と研究を行う
2. 人間と社会に深い洞察力を持つ人材の育成
3. 高度な知識と技術を有し、保健医療分野に貢献できる人材の育成
4. 豊かな人間性を備え、創造性に富む、活力ある人材の育成

オープンキャンパス

7月21日(日)のオープンキャンパスの参加者は、**1002名で過去最高**の参加者数となりました。猛暑にも関わらず、アリーナに入りきれない程、多くの高校生・保護者の方々にお越しいただきました。教職員の皆様、お疲れ様でした。次回のオープンキャンパスは、8月25日(日)開催です。より多くの方々に本学の良さを知っていただけるよう、ご協力を宜しくお願いします。



【全体説明】



【看護学科】



【医学検査学科】

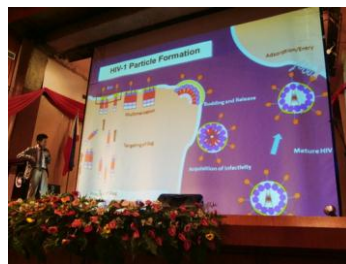
タイ表敬訪問

GPO 及びタイ保健省関連の方々、化血研訪問に伴い、本学にも 7 月 19 日 (金) に船津理事長・小野学長・石原事務局長・竹熊千晶看護学科長に表敬訪問にいられました。石原事務局長が大学紹介、竹熊看護学科長が昨年の九州北部豪雨水害についてプレゼンをされ、太陽光ソーラーの見学もしていただきました。本学のことを良く知っていただき、より交流を深めることができました。



第3回 MT 国際シンポジウム

8 月 1 日 (木)・2 日 (金) にセントエスカター大学 (フィリピン) で第 3 回 MT 国際シンポジウムが開催されました。他に、大邱保健大学 (韓国)・コケン大学 (タイ) の計 4 大学が参加し、自由テーマと CA-MRSA についての発表がそれぞれありました。本学からは、野崎周英教授が座長として参加された他、安楽健作講師が "Design and Synthesis of Biotinylated Inositol Phosphates Relevant to the Biotin-Avidin Techniques" について、正木孝幸非常勤講師が "Isolation of CA-MRSA in Kumamoto, Japan" という演題でプレゼンされました。次回は、コケン大学で第 4 回 MT シンポジウムを開催します。



野崎周英教授が座長として参加された他、安楽健作講師が "Design and Synthesis of Biotinylated Inositol Phosphates Relevant to the Biotin-Avidin Techniques" について、正木孝幸非常勤講師が "Isolation of CA-MRSA in Kumamoto, Japan" という演題でプレゼンされました。次回は、コケン大学で第 4 回 MT シンポジウムを開催します。

大邱保健大学の学生 2 名受入れ

7 月 1 日 (月) ~ 15 日 (月) まで大邱保健大学の 2 名の学生を医学検査学科で受け入れました。今回受け入れたパクさんとリュウさんは、それぞれ日本語と英語が流暢に話せて、とても優秀な学生でした。医学検査学科の 3 年生の岩永君と、1 年生の福島さんの実家でそれぞれホームステイも受け入れてもらいました。学内の講義受講、実習への参加の他、熊本大学附属病院で見学をしてもらう等して、充実した 2 週間を過ごしてもらえたようです。



ぎんきょう

銀杏学園通信ぎんきょう No.28 ができました。今回の特集は、大学間連携共同教育推進事業「減災型地域社会のリーダー養成プログラム」です。その他、小野学長熊日賞受賞などについても掲載しています。是非、ご一読下さい!



おてもやん総おどり

8 月 3 日 (土) に本学の職員 4 名と医学検査学科 4 年生の 6 名が、コンソー熊本・留学生連のメンバーとして「第 36 回火の国まつり・おてもやん総おどり」に参加しました。コンソ熊本加盟大学及び高専の留学生と共に踊り、初めて「元気いっぱい賞」を受賞しました! また、化血研は、2 位で銀賞を受賞されました。



インカレ

6 月から 7 月にかけてインカレ九州大会が開催されました。中には、十分な練習量を確保できなかったサークルもあったようですが、全 7 サークルそれぞれが、精一杯全力を尽くして戦ったようです。次回は更に良い結果が得られるように勉強と両立してサークル活動に励んで欲しいと思います。写真は、6 月 17 日 (月) に開催された第 63 回インカレ九州大会出場激励会の様子です。



「第 13 回全国禁煙推進研究会」に参加して

世界禁煙デー期間に合わせて表題の会が 6 月 9 日 (日) に熊本で大々的に開催され、運営ボランティアに本学学生 40 人が参加しました。医師会長ほか、医療関係団体の会長が一同に集まり「禁煙推進宣言」から幕を開け、幸山市長はじめ多くの演者から興味ある話を聞くことができました。我々学生は分科会場で肺機能、体脂肪、血圧などの健康測定やゲーム・展示など多くの項目で大勢の市民相手に楽しく活動しました。
(学生代表医学検査学科 4 年吉田剛士)



知っておきたい文献の表記法と注意を要する論文の分類 No.2

研究科長の山口康雄教授より、文献の表記法についての紹介です。

雑誌の名称については、『医学中央雑誌』や『PubMed』に従った記載法が取り入れられている。『Nutrition & Metabolism』は、科学雑誌では通常、Title に『&』を使用する記載法は見たことがない。一方、PubMed の記載法は『Nutr Metab』である。また、セミコロン(;) やコロン(:) の使用法についても、知っておかなければならない。セミコロン(;) は事項を並べる際に使用され、接続副詞の役目を果たしている。例えば、PubMed では『2009;106(1):40-48.』のようにセミコロン(;) が使用される。ある修士論文に記載された例であるが、『2008:481-487』と記載され、セミコロン(;) が消され、何かを列記する際に使用するコロン(:) を使うことによって、2008 巻を意味することになる。2008 年間も続いている雑誌は見たことがない。

(文責: 山口康雄研究科長) ~No.3 につづく~

